

# 4月の衛研検査情報

～概要版～

## 医動物・種類同定検査結果（令和元年10月～令和2年3月）

**主な結果** 令和元年10月から令和2年3月の6ヶ月間の種類同定検査報告件数は、7件で内訳は、昆虫類2件（コウチュウ目2件）、その他の節足動物3件（ダニ目1件、クモ目2件）、その他2件（ミミズ綱、不明）でした。

## 食品中のアフラトキシン検査結果（令和元年度）

**主な結果** 6月に4検体（アーモンド、カシューナッツ、クルミ及びマカデミアナッツ）、9月に4検体（アーモンド、カシューナッツ、黒イチジク及びピスタチオ）の計8検体について総アフラトキシン（アフラトキシンB1、B2、G1、G2）の検査を行いました。検査の結果、全て不検出でした。また、2月に牛乳及び特別牛乳（国の許可を受けた施設で生乳を搾取後、無殺菌又は低温殺菌で製造し、厚生労働省令で定める成分規格を有する牛乳）の2検体についてアフラトキシンM1の検査を行いました。検査の結果、全て不検出でした。

## 食品アレルギー検査結果（令和2年1月～2月）

**主な結果** 令和2年1月及び2月に、各区福祉保健センターが市内の小学校及び保育園から収去した特定原材料除去給食78検体について、卵、乳、小麦の検査を行いました。その結果、すべて陰性（10ppm未満）でした。

## 遺伝子組換え食品の検査結果（令和元年度）

**主な結果** トウモロコシ加工品12検体について、定性検査を行った結果、いずれの検体も不検出となり、違反検体はありませんでした。また、コメ加工品10検体について、定性検査を行った結果、いずれの検体も不検出となり、違反検体はありませんでした。ダイズ穀粒8検体について、定量検査を行った結果、いずれの検体も混入率は5%以下であり、違反検体はありませんでした。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 令和2年3月は、横浜市感染症情報センタートップページ、コロナウイルス感染症について、大麻（マリファナ）、パストについて、に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は378,894件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。